



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2017年11月2日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、11月9日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

2017年度第3四半期の1株当たり事業純利益⁽¹⁾が1.1%増(CER⁽²⁾ベース) 2017年度通年の見通しを確認

	2017年度 第3四半期	前年同期比	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER およびCS ⁽³⁾)	2017年度 年初から 9カ月間	前年同期比	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER およびCS ⁽³⁾)
IFRS 純売上高(為替調整前)	€9,053m	+0.3%	+4.7%	-0.2%	€26,364m	+5.7%	+6.2%	+1.2%
IFRS 純利益(為替調整前)	€1,567m	-6.4%	-	-	€8,305m	+111.9%	-	-
IFRS 1株当たり純利益 (為替調整前)	€1.25	-3.8%	-	-	€6.60	+117.1%	-	-
事業純利益 ⁽¹⁾	€2,141m	-6.9%	-1.1%	-	€5,632m	-1.2%	-0.3%	-
1株当たり事業純利益 ⁽¹⁾	€1.71	-4.5%	+1.1%	-	€4.48	+1.1%	+2.0%	-

2017年度第3四半期および年初から9カ月間の業績には、ベーリンガーインゲルハイム社のコンシューマー・ヘルスケア(CHC)事業と、動物用医薬品事業の事業交換(2017年1月1日に完了⁽⁴⁾)が反映されています。IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、動物用医薬品事業の2016年度業績および2017年の売却益は、別途報告されます。2017年度第3四半期および年初から9カ月間の損益計算書には、2016年12月末にメルク社とのサノフィパストール MSD ジョイントベンチャー(SPMMSD JV)が終了した後、サノフィのワクチンポートフォリオに関連して欧州業務の整理統合を行ったことも反映されています。

サノフィジェンザイム、サノフィパストールおよび新興市場が2017年度第3四半期の業績を支える

- CHC およびワクチングローバルビジネスユニット(GBU)の事業範囲の変更を反映し、純売上高は、調整前0.3%増(CERベースで4.7%増⁽²⁾)の90億5,300万ユーロ。純売上高は、CERおよびCSベース⁽³⁾で横ばい(0.2%減)
- 米国での順調なDupixent[®]発売および多発性硬化症事業の成長を受けて、サノフィジェンザイムがCERベースで13.9%増
- 主に小児用混合ワクチンとブースターワクチンに牽引され、サノフィパストールがCERおよびCSベースで7.2%増
- 先進国市場での激化した競合の影響を受け、CHCの売上高はCERおよびCSベースで1.0%増
- 糖尿病および循環器の売上高は、CERベースで14.8%減。売上高の見通しが改善したことを受け、サノフィは、2015~2018年の世界全体での糖尿病製品群の展望を-6%~-8% CAGRに修正
- 新興市場⁽⁵⁾の売上高は、中国およびロシアの好調な売上高を受けて、CERおよびCSベースで7.3%増

2017年度第3四半期の1株当たり事業純利益は通年の見通しと一致

- 2017年度第3四半期の事業純利益は、CERベースで5.1%増、CSベースで1.7%増の29億1,100万ユーロ
- 2017年度第3四半期の1株当たり事業純利益⁽¹⁾は、CERベースで1.1%増(調整前4.5%減)の1.71ユーロ
- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2017年度通年の1株当たり事業純利益⁽¹⁾をCERベースでほぼ前年度並み⁽⁶⁾と予測
- 通貨変動による2017年度1株当たり事業純利益への影響を2017年9月の平均為替レートで-1%~-2%程度と予測

研究開発におけるイノベーションを維持

- Dupixent[®]が中等症から重症のアトピー性皮膚炎を対象にEUで承認を取得
- 第III相QUEST試験およびVENTURE試験の肯定的な重要結果により、喘息を対象としたdupilumabの安全性と有効性プロファイルを確認。コントロール不良の持続型喘息患者を対象とした米国での申請は、第4四半期を予定
- 腫瘍免疫領域では、cemiplimab⁽⁷⁾(抗PD-1)がFDAから画期的治療薬の指定を受ける

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディクルのコメント:

「今期業績の重要な原動力は、米国におけるDupixent[®]の順調な発売、多発性硬化症製品群の2桁成長の達成、小児用ワクチンの好業績でした。これらの肯定的な動向と併せて、新興市場で堅調な成長を記録し、徹底したコスト管理を進めたことで、糖尿病製品群の減少が相殺されました。喘息を対象としたDupixent[®]の第III相試験から得られた肯定的な重要結果や、オンコロジー領域における抗PD-1のcemiplimabに関する最近の進展が示すとおり、研究開発が進展したことを嬉しく思います」

(1) 当カンパニーの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です(定義は付録 8 を参照)。2017 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の連結損益計算書については付録 3 に、IFRS 純利益(為替調整前)から事業純利益への調整については付録 4 に記載していません。(2) 特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(付録 8 を参照)(3) CS(constant structure):グループ構成の変動要因を排除:BI CHC 事業、SPMSD 終了、その他について調整を実施(4) メキシコにおけるリアル売却のクロージングは 2017 年中を予定しています。(5) 定義は 9 ページを参照(6) 2016 年度の 1 株当たり事業純利益は 5.68 ユーロ(7) Regeneron 社との提携

2017 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間のサノフィ売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高の変動率は為替レート変動の影響を排除して⁽⁸⁾算出しています。

2017 年度第 3 四半期のカンパニー売上高は、調整前ベースで 0.3%増の 90 億 5,300 万ユーロでした。主に米ドル、日本円、エジプト・ポンド、中国元、およびトルコ・リラの為替レートの変動を反映し、4.4 ポイントの悪影響を受けました。カンパニー売上高は、ベーリンガーインゲルハイム社の CHC 事業の取得とサノフィの欧州ワクチン事業が全面的に連結対象になったことの恩恵を受け、CER ベースで 4.7%増となりました。カンパニー売上高は、CER および CS ベースで 0.2%減でした。

年初から 9 カ月間におけるカンパニー売上高は、調整前ベースで前年同期比 5.7%増の 263 億 6,400 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、0.5 ポイントのマイナス影響を受けました。カンパニー売上高は、CER および CS ベースで 1.2%増でした。

グローバルビジネスユニット

以下の表は、グローバルビジネスユニット(GBU)別の売上高をまとめたものであり、サノフィの組織体制を示しています。この体制により、専門性を高め、レポートングが簡略化され、成長の原動力に明確に注力できるようになります。新興市場におけるスペシャルティケア、糖尿病および循環器の売上高は、ジェネラルメディスンおよび新興市場 GBU に計上されます。

GBU 別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 第 3 四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	2017 年度 年初から 9 カ月間	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)
サノフィ・ジェンザイム(スペシャルティケア) ^(a)	1,390	+13.9%	+13.9%	4,208	+14.5%	+14.6%
糖尿病および循環器 ^(a)	1,298	-14.8%	-14.8%	4,103	-12.6%	-12.6%
ジェネラルメディスンおよび新興市場 ^(b)	3,317	-2.7%	-3.1%	10,701	-0.6%	-0.8%
コンシューマー・ヘルスケア(CHC)	1,132	+48.5%	+1.0%	3,636	+44.5%	+2.0%
医薬品合計	7,137	+3.2%	-2.1%	22,648	+4.6%	-0.3%
サノフィパズツール(ワクチン)	1,916	+11.0%	+7.2%	3,716	+17.0%	+11.4%
純売上高合計	9,053	+4.7%	-0.2%	26,364	+6.2%	+1.2%

(a) 新興市場の売上高は含まず—定義は 9 ページを参照(b) 糖尿病および循環器とスペシャルティケアの新興市場の売上高を含む

*CS:グループ構成の変動要因を排除

グローバル製品群

以下の表は、2017 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間のグローバル製品群別売上高をまとめたものであり、比較しやすいように新興市場における売上高を含めています。付録 1 に、GBU 別および製品群別の調整値をまとめました。

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 第 3 四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	先進国市場	前年同期比 (CER/CS*)	新興市場	前年同期比 (CER/CS*)
スペシャルティケア	1,633	+12.5%	+12.5%	1,390	+13.9%	243	+5.3%
糖尿病および循環器	1,675	-9.1%	-9.1%	1,298	-14.8%	377	+17.2%
エスタブリッシュ処方製品	2,264	-6.5%	-7.1%	1,338	-13.8%	926	+4.3%
コンシューマー・ヘルスケア(CHC)	1,132	+48.5%	+1.0%	721	-2.0%	411	+6.7%
ジェネリック医薬品	433	-0.9%	-0.9%	247	-1.9%	186	+0.5%
ワクチン	1,916	+11.0%	+7.2%	1,542	+6.2%	374	+11.6%
純売上高合計	9,053	+4.7%	-0.2%	6,536	-2.9%	2,517	+7.3%

*CS:グループ構成の変動要因を排除

(8) 財務指標の定義は付録 8 を参照

製品群別純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 年初から 9カ月間	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	先進国市場	前年同期比 (CER/CS*)	新興市場	前年同期比 (CER/CS*)
スペシャルティケア	4,964	+13.8%	+13.9%	4,208	+14.6%	756	+10.0%
糖尿病および循環器	5,242	-8.0%	-8.0%	4,103	-12.6%	1,139	+12.6%
エスタブリッシュ処方製品	7,463	-2.7%	-3.1%	4,564	-7.9%	2,899	+5.4%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	3,636	+44.5%	+2.0%	2,420	+0.8%	1,216	+4.3%
ジェネリック医薬品	1,343	-3.7%	-3.5%	768	-4.6%	575	-1.9%
ワクチン	3,716	+17.0%	+11.4%	2,612	+9.9%	1,104	+15.1%
純売上高合計	26,364	+6.2%	+1.2%	18,675	-1.2%	7,689	+7.4%

*CS:グループ構成の変動要因を排除

医薬品

2017年度第3四半期における医薬品事業の売上高は、3.2%増の71億3,700万ユーロとなりました。医薬品事業の売上高は、主に糖尿病およびエスタブリッシュ処方製品により、CSベースで2.1%減でした。年初から9カ月間における医薬品事業の売上高は、4.6%増(CSベースで0.3%減)の226億4,800万ユーロとなりました。

希少疾患製品群

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 第3四半期	前年同期比 (CER)	2017年度 年初から9カ月間	前年同期比 (CER)
Myozyme [®] (マイオザイム)/Lumizyme [®]	191	+5.9%	584	+9.6%
Cerezyme [®] (セレザイム)	178	+1.6%	547	-1.8%
Fabrazyme [®] (ファブラザイム)	175	+4.5%	542	+10.4%
Aldurazyme [®] (アウドラザイム)	50	-1.9%	159	+6.0%
Cerdelga [®] (サデルガ)	31	+14.3%	93	+20.8%
その他の希少疾患	73	-7.2%	237	-2.9%
希少疾患合計	698	+2.7%	2,162	+5.3%

第3四半期における希少疾患製品群の売上高は、2.7%増の6億9,800万ユーロとなりました。希少疾患製品群の売上高は、米国で1.9%増、新興市場で1.5%増、欧州で1.7%増となりました。年初からの希少疾患製品群の売上高は、5.3%増の21億6,200万ユーロとなりました。

第3四半期におけるゴーシェ病製品群(Cerezyme[®](セレザイム)およびCerdelga[®](サデルガ))の売上高は、3.3%増の2億900万ユーロとなりました。Cerezyme[®](セレザイム)の売上高は1.6%増の1億7,800万ユーロ、Cerdelga[®](サデルガ)の売上高は14.3%増の3,100万ユーロであり、そのうち2,300万ユーロが米国(4.3%増)で計上されました。年初からのゴーシェ病製品群の売上高は、0.9%増の6億4,000万ユーロとなりました。

第3四半期におけるFabrazyme[®](ファブラザイム)の売上高は、4.5%増の1億7,500万ユーロでした。年初からのFabrazyme[®](ファブラザイム)の売上高は、10.4%増の5億4,200万ユーロでした。

第3四半期におけるMyozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、主に新規治療患者の増加を受けて、5.9%増の1億9,100万ユーロとなりました。年初からのMyozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、9.6%増の5億8,400万ユーロでした。

多発性硬化症製品群

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 第3四半期	前年同期比 (CER)	2017年度 年初から9カ月間	前年同期比 (CER)
Aubagio®	382	+19.2%	1,178	+26.9%
Lemtrada®	113	+5.4%	362	+18.5%
多発性硬化症合計	495	+15.7%	1,540	+24.8%

第3四半期における多発性硬化症(MS)製品群の売上高は、米国および欧州における Aubagio®の業績に牽引され、15.7%増の4億9,500万ユーロとなりました。年初からのMS製品群の売上高は、24.8%増の15億4,000万ユーロとなりました。

第3四半期における Aubagio®の売上高は、米国(20.9%増の2億7,400万ユーロ)に牽引され、19.2%増の3億8,200万ユーロとなりました。Aubagio®の欧州での売上高は、16.0%増の8,600万ユーロでした。年初からの Aubagio®の売上高は、26.9%増の11億7,800万ユーロとなりました。

第3四半期における Lemtrada®の売上高は、米国の6,000万ユーロ(前年同期並み)および欧州の4,000万ユーロ(10.8%増)を含め、5.4%増の1億1,300万ユーロとなりました。年初からの Lemtrada®の売上高は、18.5%増の3億6,200万ユーロとなりました。

免疫製品群

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 第3四半期	前年同期比 (CER)	2017年度 年初から9カ月間	前年同期比 (CER)
Dupixent®	75	-	101	-
Kevzara®	2	-	3	-
免疫疾患合計	77	-	104	-

中等症から重症の成人アトピー性皮膚炎患者の治療薬として3月に米国で発売された Dupixent®(Regeneron社との共同開発)は、第3四半期に7,500万ユーロの売上高を記録しました。米国では、発売以来、7,100人以上の医師が Dupixent®を処方し、累計23,000人の患者が処方を受けています。欧州では、全身療法の対象となる中等症から重症の成人アトピー性皮膚炎患者の治療薬として2017年9月末に承認を取得しました。2017年末にドイツでの発売を予定しています。

関節リウマチに対する治療薬の Kevzara®(Regeneron社との共同開発)が6月に米国で発売され、欧州では第3四半期にドイツとオランダで発売されました。Kevzara®の年初からの売上高は、300万ユーロでした。

オンコロジー製品群

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 第3四半期	前年同期比 (CER)	2017年度 年初から9カ月間	前年同期比 (CER)
Jevtana®(ジェブタナ)	90	+6.8%	287	+8.3%
Thymoglobulin®(サイモグロブリン)	71	+5.7%	219	+7.4%
Taxotere®(タキソテール)	42	+2.2%	133	-0.7%
Eloxatin®	45	+11.6%	135	+6.2%
Mozobil®(モンビル)	43	+12.8%	123	+10.8%
Zaltrap®(ザルトラップ)	19	+18.8%	53	+6.0%
その他	53	-9.7%	208	+11.2%
オンコロジー合計	363	+5.0%	1,158	+7.4%

オンコロジー製品群の第3四半期の売上高は5.0%増の3億6,300万ユーロ、年初からの売上高は7.4%増の11億5,800万ユーロでした。

第3四半期における Jevtana®(ジェブタナ)の売上高は、米国と日本の業績に支えられ、6.8%増の9,000万ユーロとなりました。年初からの Jevtana®(ジェブタナ)の売上高は、8.3%増の2億8,700万ユーロとなりました。

第3四半期における Thymoglobulin®(サイモグロブリン)の売上高は、新興市場(28.6%増の1,700万ユーロ)に牽引され、5.7%増の7,100万ユーロとなりました。年初からの Thymoglobulin®(サイモグロブリン)の売上高は、7.4%増の2億1,900万ユーロとなりました。

第3四半期における **Eloxatin**[®]の売上高は、中国に支えられ、11.6%増の4,500万ユーロとなりました。第3四半期における **Taxotere**[®](タキソテール)の売上高は、2.2%増の4,200万ユーロとなりました。年初からの **Taxotere**[®](タキソテール)の売上高は、0.7%減の1億3,300万ユーロ、**Eloxatin**[®]の売上高は、6.2%増の1億3,500万ユーロでした。

糖尿病製品群

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 第3四半期	前年同期比 (CER)	2017年度 年初から9カ月間	前年同期比 (CER)
Lantus [®] (ランタス)	1,123	-15.5%	3,546	-16.3%
Toujeo [®] (ランタス XR)	198	+23.4%	600	+45.0%
グラルギン製品合計	1,321	-11.3%	4,146	-10.9%
Apidra [®] (アピドラ)	89	0.0%	280	+3.7%
Amaryl [®] (アマリール)	82	-3.3%	256	-1.1%
Insuman [®]	26	-18.8%	81	-16.3%
BGM(血糖測定器)	14	-12.5%	47	-6.0%
Lyxumia [®] (リキスミア)	7	-22.2%	21	-19.2%
Soliqua [®]	8	-	17	-
糖尿病合計	1,552	-10.0%	4,862	-9.5%

第3四半期における世界全体の**糖尿病製品群**の売上高は、米国での **Lantus**[®](ランタス)の売上高減少を反映し、10.0%減の15億5,200万ユーロとなりました。第3四半期における米国での糖尿病製品群の売上高は、22.4%減の7億4,500万ユーロでした。年初からの米国での糖尿病製品群の売上高は、20.2%減の23億9,800万ユーロでした。以前にお知らせしたとおり、サノフィは、2017年度第4四半期に年初来業績と比較して米国で糖尿病製品群の売上高の減少が加速するものと予測しています。これは、昨年度第4四半期の高い比較基準に加え、CVSおよびUnited Healthの民間フォーミュラーから除外されたことの段階的影響を反映しています。第3四半期における新興市場での売上高は、17.3%増の3億7,500万ユーロとなりました。第3四半期における欧州での売上高は、イタリアとスペインでの卸値調整によって市場シェアの拡大が十分に相殺されたことを反映し、3.1%減の3億1,300万ユーロとなりました。年初からの世界全体での糖尿病製品群の売上高は、9.5%減の48億6,200万ユーロでした。

第3四半期におけるサノフィの**グラルギン製品群**(**Lantus**[®](ランタス)および**Toujeo**[®](ランタス XR))の売上高は、11.3%減の13億2,100万ユーロでした。米国におけるサノフィのグラルギン製品群の売上高は、2017年1月1日よりCVS民間フォーミュラーから除外され、2017年4月1日にはUnited Health民間フォーミュラーから除外されたことの影響を反映し、23.1%減の7億1,600万ユーロとなりました。欧州におけるサノフィのグラルギン製品群の売上高は、複数の欧州市場でグラルギンのバイオシミラー製剤が発売されたことを受け、3.2%減の2億3,800万ユーロとなりました。年初からのサノフィのグラルギン製品群の売上高は、10.9%減の41億4,600万ユーロとなりました。

第3四半期における**Lantus**[®](ランタス)の売上高は、15.5%減の11億2,300万ユーロでした。米国では、主に平均卸値の低下と先述のフォーミュラーからの除外の影響を反映し、**Lantus**[®](ランタス)の売上高が25.4%減の6億800万ユーロとなりました。第3四半期における欧州での**Lantus**[®](ランタス)の売上高は、バイオシミラー製剤との競合、患者の**Toujeo**[®](ランタス XR)への切り替えを受け、14.0%減の1億8,400万ユーロとなりました。第3四半期における新興市場での売上高は、17.2%増の2億5,600万ユーロとなりました。年初からの**Lantus**[®](ランタス)の売上高は、16.3%減の35億4,600万ユーロとなりました。

8月、サノフィは、メルク社を相手取り、米国ニュージャージー州連邦地方裁判所に特許侵害訴訟を提起しました。訴状の中でサノフィは、2件の特許の侵害を申し立てています。この訴訟は、6月後半にメルク社からインスリン グラルギン製剤の新薬承認申請(505(b)(2)NDA)をFDAに提出したという通知を受け取ったことが発端でした。メルク社は、このNDAは、サノフィの**Lantus**[®](ランタス)および**Lantus**[®] **SoloSTAR**[®](ランタス注ソロスター)製品に関する米国食品医薬品局(FDA)のオレンジブックに記載されたサノフィの特許すべてに異議を申し立てるパラグラフIV証明を含むものであると説明しています。

10月、サノフィは、Mylan社を相手取り、米国ニュージャージー州連邦地方裁判所に特許侵害訴訟を提起しました。訴状の中でサノフィは、18件の特許の侵害を申し立てています。この訴訟は、9月半ばにMylan社からインスリン グラルギンのプレフィルドペン型注入器および製剤の新薬承認申請(505(b)(2)NDA)をFDAに提出したという通知を受け取ったことが発端でした。Mylan社は、このNDAは、サノフィの**Lantus**[®](ランタス)(インスリン グラルギン注、100単位/mL)および**Lantus**[®] **SoloSTAR**[®](ランタス注ソロスター)製品に関する米国食品医薬品局(FDA)のオレンジブックに記載されたサノフィの特許すべてに異議を申し立てるパラグラフIV証明を含むものであると説明しています。

第3四半期における**Toujeo**[®](ランタス XR)の売上高は、23.4%増の1億9,800万ユーロであり、そのうち1億800万ユーロ(6.6%減)が米国、5,400万ユーロ(66.7%増)が欧州、1,900万ユーロ(前年同期は300万ユーロ)が新興市場で計上されました。年初からの**Toujeo**[®](ランタス XR)の売上高は、45.0%増の6億ユーロとなりました。

第3四半期における **Amaryl[®]** (アマリール) の売上高は、3.3%減の 8,200 万ユーロであり、そのうち 7,000 万ユーロ (4.1%増) が新興市場で計上されました。年初からの **Amaryl[®]** (アマリール) の売上高は、1.1%減の 2 億 5,600 万ユーロでした。

第3四半期における **Apidra[®]** (アピドラ) の売上高は、前年同期並みの 8,900 万ユーロでした。新興市場 (26.3%増の 2,200 万ユーロ) および欧州 (9.4%増の 3,500 万ユーロ) での堅調な成長によって、米国での売上高減少 (25.8%減の 2,100 万ユーロ) が相殺されました。年初からの **Apidra[®]** (アピドラ) の売上高は、3.7%増の 2 億 8,000 万ユーロとなりました。

2017 年 1 月より、**Soliqua[®] 100/33** (インスリン グラルギン 100 単位/mL・リキシセナチド 33 µg/mL 配合注射剤) が米国で発売されており、最近、欧州で 1 カ国目となるオランダでも **Soliqua[™]** が発売されました。米国では、保険支払者の保障が改善しており、第3四半期末までに生命保険の 65% でアクセスが確保されました。**Soliqua[®] 100/33 / Soliqua[™]** の第3四半期の売上高は 800 万ユーロ、年初から 9 カ月間の売上高は 1,700 万ユーロでした。

米国の保険支払者との契約交渉を経て、サノフィは、2018 年の米国における大部分のフォーミュラーへの **Lantus[®]** (ランタス) と **Toujeo[®]** (ランタス XR) の掲載を取り付けました。売上高の見通しが改善したことを受けて、サノフィは世界全体での糖尿病製品群の見通しを調整し、2015~2018 年には、CER ベースで 6%~8% の平均年率換算での売上高減少を見込んでいます。

循環器製品群

第3四半期における **Praluent[®]** (プラルエント) (Regeneron 社と共同開発) の売上高は、4,200 万ユーロであり、そのうち 2,800 万ユーロが米国、1,200 万ユーロが欧州で計上されました。これは、米国で保険支払者の制約が大きく、欧州で市場アクセスが限られることを反映したものです。年初から 9 カ月間における **Praluent[®]** (プラルエント) の売上高は、前年同期の 6,800 万ユーロに対し、1 億 1,800 万ユーロでした。

2017 年 10 月、米国連邦巡回控訴裁判所は、新たな試験を命じ、PCSK9 を標的とする抗体に関して Amgen 社の主張する特許請求に関する紛争における恒久的な差し止め命令を取り消しました。この裁定を受けて、サノフィと Regeneron 社は、米国で **Praluent[®]** (プラルエント) のマーケティング、販売、製造を継続します。

Multaq[®] の第3四半期の売上高は 8,100 万ユーロ (4.5%減)、年初からの売上高は 2 億 6,200 万ユーロ (0.8%増) でした

エスタブリッシュ処方製品

純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 第3 四半期	前年同期比 (CER)	2017 年度 年初から 9 カ月間	前年同期比 (CER)
Lovenox [®]	370	-5.4%	1,187	-1.9%
Plavix [®] (プラビックス)	358	-4.7%	1,123	-2.3%
Renvela[®]/Renagel[®] (レナジェル)	153	-35.1%	647	-6.7%
Aprovel [®] /Avapro [®]	150	-9.8%	533	+4.1%
Synvisc[®] (サイビスク) /Synvisc-One [®]	95	-2.0%	301	+0.7%
Myslee [®] (マイスリー) /Ambien [®] /Stilnox [®]	63	-13.0%	200	-11.6%
Allegra [®] (アレグラ)	24	-16.1%	126	-13.8%
その他	1,051	-0.4%	3,346	-2.6%
エスタブリッシュ処方製品合計	2,264	-6.5%	7,463	-2.7%

第3四半期における **エスタブリッシュ処方製品** の売上高は、6.5%減の 22 億 6,400 万ユーロでした。これは、欧州での売上高減少 (4.4%減の 8 億 1,600 万ユーロ) と米国での **Renvela[®]/Renagel[®]** (レナジェル) におけるジェネリック医薬品との競合の発生、および日本での **Plavix[®]** (プラビックス) におけるジェネリック医薬品との競合の影響により、新興市場の堅調な業績 (4.4%増の 9 億 2,600 万ユーロ) が相殺されたことを反映しています。年初からの **エスタブリッシュ処方製品** の売上高は、2.7%減の 74 億 6,300 万ユーロでした。

第3四半期における **Lovenox[®]** の売上高は、欧州で競合が激化した (10.9%減の 2 億 2,000 万ユーロ) ことによって、新興市場の成長 (2.5%増の 1 億 1,200 万ユーロ) が相殺されたことを反映し、5.4%減の 3 億 7,000 万ユーロとなりました。9 月現在、英国とドイツで本製品のバイオシミラー製剤が登場しています。年初からの **Lovenox[®]** の売上高は、1.9%減の 11 億 8,700 万ユーロとなりました。

第3四半期における **Plavix[®]** (プラビックス) の売上高は、2015 年 6 月に日本で生じたジェネリック医薬品との競合 (日本での売上高は 31.8%減の 5,300 万ユーロ) により、4.7%減の 3 億 5,800 万ユーロとなりました。第3四半期における新興市場での

Plavix[®] (プラビックス)の売上高は、中国での業績に支えられ、5.0%増の 2 億 5,400 万ユーロとなりました。年初からの Plavix[®] (プラビックス)の売上高は、2.3%減の 11 億 2,300 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における Renvela[®]/Renagel[®] (レナジェル)の売上高は、米国でのジェネリック医薬品との競合 (42.7%減の 1 億 1,200 万ユーロ)により、35.1%減の 1 億 5,300 万ユーロとなりました。10 月、サノフィは米国で Renvela[®]/Renagel[®] (レナジェル)のオーソライズドジェネリック医薬品を発売しました。第 3 四半期における欧州での Renvela[®]/Renagel[®] (レナジェル)の売上高は、同じくジェネリック医薬品との競合を反映し、10.0%減の 1,800 万ユーロとなりました。年初からの Renvela[®]/Renagel[®] (レナジェル)の売上高は、6.7%減の 6 億 4,700 万ユーロでした。

Aprovel[®]/Avapro[®]の売上高は、中国での成長が日本でのパートナーによる売上高の減少によって相殺されたことを反映し、9.8%減 (1 億 5,000 万ユーロ)でした。年初からの Aprovel[®]/Avapro[®]の売上高は、4.1%増の 5 億 3,300 万ユーロとなりました。

コンシューマー・ヘルスケア

付録 1 に、地域別およびカテゴリー別の CHC 売上高をまとめました。

純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2017 年度 第 3 四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	2017 年度 年初から 9 カ月間	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)
アレルギー薬/鎮咳去痰薬/感冒薬	264	+52.8%	-4.8%	933	+52.3%	+3.0%
– Allegra [®] (アレグラ)	87	-2.1%	-2.1%	338	+0.9%	+0.9%
– Mucosolvan [®]	32	na	na	85	na	na
– Xyzal [®]	7	-	-	58	-	-
鎮痛薬	309	+50.5%	+7.0%	930	+44.0%	+5.1%
– Doliprane [®]	72	+5.8%	+5.8%	228	+3.1%	+3.1%
– Buscopan [®]	60	na	na	140	na	na
消化器用薬	220	+97.4%	+2.7%	688	+77.8%	-1.3%
– Dulcolax [®]	52	na	na	155	na	na
– Enterogermina [®]	38	+2.6%	+2.6%	127	+3.3%	+3.3%
– Essentiale [®]	31	+6.9%	+6.9%	106	0.0%	0.0%
– Zantac [®]	31	na	na	88	na	na
栄養補助食品	162	+38.0%	-5.1%	496	+42.5%	-2.6%
– Pharmaton [®]	29	na	na	77	na	na
その他	177	+14.3%	+4.5%	589	+12.5%	+3.4%
– Gold Bond [®]	45	+9.1%	+9.1%	145	+5.1%	+5.1%
コンシューマー・ヘルスケア合計	1,132	+48.5%	+1.0%	3,636	+44.5%	+2.0%

*CS:グループ構成の変動要因を排除

第 3 四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア (CHC) 製品の売上高は、2017 年 1 月 1 日付でベーリンガーインゲルハイム社の CHC 事業の取得が完了したことを反映し、48.5%増の 11 億 3,200 万ユーロとなりました。第 3 四半期におけるサノフィ CHC 製品の売上高は、新興市場 (6.7%増の 4 億 1,100 万ユーロ)が欧州 (1.2%減の 3 億 2,100 万ユーロ)および米国 (3.8%減の 2 億 4,100 万ユーロ)の売上高減少によって相殺され、CS ベースで 1.0%増となりました。年初からの CHC 製品の売上高は、CS ベースで 2.0%増の 36 億 3,600 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における欧州での CHC 製品の売上高は、65.1%増の 3 億 2,100 万ユーロでした。CS ベースでは、鎮痛剤カテゴリーの成長 (5.3%増)がアレルギー薬/鎮咳去痰薬/感冒薬の売上高減少 (9.0%減)によって相殺され、1.2%減となりました。年初からの CHC 製品の売上高は、CS ベースで 0.7%増の 10 億 3,500 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における米国での CHC 製品の売上高は、17.6%増の 2 億 4,100 万ユーロとなりました。CHC 製品の売上高は、Nasacort[®]を中心としたカテゴリーにおいてプライベートブランド商品との競合が激化したことを反映し、CS ベースで 3.8%減となりました。第 3 四半期における Xyzal[®] Allergy 24HR (季節性および通年性アレルギーに伴う症状の軽減を適応とする OTC 治療薬として 2 月に承認を取得)の売上高は、700 万ユーロでした。第 3 四半期における消化器用薬カテゴリーの売上高は、Zantac[®]の売上高減少を反映し、7.4%減となりました。年初からの米国での CHC 製品の売上高は、CS ベースで 0.6%増の 8 億 8,200 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における新興市場での CHC 製品の売上高は、37.5%増の 4 億 1,100 万ユーロとなりました。CHC 製品の売上高は、ロシアでの回復を反映し、CS ベースで 6.7%増となりました。年初からの新興市場での CHC 製品の売上高は、CS ベースで 4.3%増の 12 億 1,600 万ユーロとなりました。

ジェネリック医薬品

第3四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、欧州における売上高減少(7.1%減の1億8,300万ユーロ)を反映し、0.9%減の4億3,300万ユーロとなりました。年初からのジェネリック医薬品の売上高は、3.7%減の13億4,300万ユーロとなりました。

ワクチン

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 第3四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)	2017年度 年初から9カ月間	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS*)
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型 (ヒブ)ワクチン(Hexaxim [®] /Hexyon [®] 、 Pentacel [®] 、Pentaxim [®] 、および Imovax [®] (イモバックスを含む)	433	+38.6%	+20.7%	1,334	+40.4%	+29.5%
髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra [®] (メナクトラ)を含む)	252	+3.9%	+3.5%	542	+6.4%	+6.2%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン (Adacel [®] を含む)	143	+42.3%	+26.5%	337	+18.1%	0.0%
トラベラーズワクチンおよびその他風土 病用ワクチン	114	+53.2%	+34.1%	333	+28.0%	+12.8%
インフルエンザワクチン (Vaxigrip [®] 、Fluzone HD [®] 、Fluzone [®] を含む)	951	+1.0%	+1.8%	1,087	+2.4%	+3.2%
Dengvaxia [®]	4	-90.0%	-90.0%	22	-56.0%	-56.0%
その他のワクチン	19	-16.0%	-12.5%	61	+10.9%	+8.9%
ワクチン合計	1,916	+11.0%	+7.2%	3,716	+17.0%	+11.4%

*CS:グループ構成の変動要因を排除

第3四半期におけるワクチンの売上高は、欧州におけるサノフィパスツール MSD ジョイントベンチャー (SPMSD JV) が 2016 年 12 月 31 日に終了したことを反映し、11.0%増の 19 億 1,600 万ユーロとなりました。売上高は、主にポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) (PPH) 製品群に牽引され、CS ベースで 7.2%増となりました。米国での売上高は、5.5%増の 12 億 6,300 万ユーロでした。新興市場での売上高は、11.9%増の 3 億 7,400 万ユーロでした。欧州での売上高は、68.9%増 (CS ベースで 9.8%増) の 1 億 9,900 万ユーロでした。年初からのワクチンの売上高は、CS ベースで 11.4%増の 37 億 1,600 万ユーロとなりました。

第3四半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) (PPH) ワクチンの売上高は、38.6%増の 4 億 3,300 万ユーロでした。PPH の売上高は、中国における Pentaxim[®] の売上増、米国における Pentacel[®] の好業績、および欧州と新興市場における Hexaxim[®] の好業績を反映し、CS ベースで 20.7%増となりました。年初からのポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) ワクチンの売上高は、29.5%増の 13 億 3,400 万ユーロでした。

Menactra[®] (メナクトラ) の第3四半期の売上高は 8.3%増の 2 億 5,000 万ユーロ、年初からの売上高は 10.0%増の 5 億 2,100 万ユーロでした。

第3四半期におけるインフルエンザワクチンの売上高は、競合環境と 65 歳以上の人口における Fluzone HD の普及率の高さを反映し、CS ベースで 1.8%増 (CER ベースで 1.0%増) の 9 億 5,100 万ユーロとなりました。米国以外の複数国で 4 価インフルエンザワクチンの VaxigripTetra[™] が発売されました。年初からのインフルエンザワクチンの売上高は、CS ベースで 3.2%増の 10 億 8,700 万ユーロでした。

8 月、Protein Sciences 社の取得が完了しました。この取得を通じて、サノフィパスツールのインフルエンザワクチンのポートフォリオに Flublok[®] が加わりました。Flublok[®] は、FDA 承認を取得した唯一の遺伝子組換えタンパク質ベースのインフルエンザワクチンです。Flublok[®] QIV は、50 歳以上の成人を対象とした最近の臨床試験において、検査で確認されたインフルエンザの発症を対照薬と比較して 30%低減することが確認されました。

第3四半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、米国における Adacel[®] の売上と欧州における Repevax[®] の供給改善に牽引され、42.3%増 (CS ベースで 26.5%増) の 1 億 4,300 万ユーロとなりました。年初からの成人用ブースターワクチンの売上高は、CS ベースで前年同期並みの 3 億 3,700 万ユーロでした。

第3四半期におけるトラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの売上高は、狂犬病ワクチンと A 型肝炎ワクチンの供給改善を反映し、53.2%増 (CS ベースで 34.1%増) の 1 億 1,400 万ユーロとなりました。年初からのトラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの売上高は、12.8%増の 3 億 3,300 万ユーロでした。

Dengvaxia[®]の第3四半期の売上高は400万ユーロ、年初からの売上高は2,200万ユーロでした。この業績は、特に中南米における政治的・経済的に困難な環境と低い発症率の中で、大規模な公的予防接種プログラムを実施することに関する課題によるものです。

地域別カンパニー売上高

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2017年度 第3四半期	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS)	2017年度 年初から9カ月間	前年同期比 (CER)	前年同期比 (CER/CS)
米国	3,442	-2.4%	-3.7%	9,004	-0.5%	-2.0%
新興市場 ^(a)	2,517	+11.4%	+7.3%	7,689	+10.9%	+7.4%
－中南米	676	+9.0%	+1.6%	2,081	+12.1%	+5.3%
－アジア(南アジア ^(b) を含む)	941	+10.9%	+9.5%	2,858	+12.0%	+10.6%
－アフリカおよび中東	572	+7.8%	+4.0%	1,744	+4.8%	+1.6%
－ユーラシア ^(c)	303	+32.1%	+25.5%	913	+21.3%	+16.8%
欧州 ^(d)	2,297	+8.2%	-1.6%	7,058	+8.4%	-0.3%
その他の国 ^(e)	797	+9.1%	-3.1%	2,613	+11.4%	-0.7%
－日本	386	+6.8%	-12.0%	1,387	+12.3%	-6.7%
サノフィ売上高合計	9,053	+4.7%	-0.2%	26,364	+6.2%	+1.2%

*CS:グループ構成の変動要因を排除

(a) 米国、カナダ、西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコを除く各国

(b) インド、バングラデシュ、スリランカ

(c) ロシア、ウクライナ、ジョージア、ベラルーシ、アルメニア、およびトルコ

(d) 西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)

(e) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコ

第3四半期における米国の売上高は、多発性硬化症製品群(16.5%増)の業績、ワクチン(5.5%増)、および Dupixent[®]の発売によって、糖尿病の売上高減少(22.4%減)、および Renvela[®]/Renagel[®](レナジェル)のジェネリック医薬品との競合の影響が部分的に相殺され、2.4%減(CS ベースで 3.7%減)の 34 億 4,200 万ユーロとなりました。年初からの米国の売上高は、CS ベースで 2.0%減の 90 億 400 万ユーロでした。

第3四半期における新興市場の売上高は、ワクチン(11.6%増)、エスタブリッシュ処方製品(4.3%増)、糖尿病(17.3%増)によって牽引され、11.4%増(CS ベースで 7.3%増)の 25 億 1,700 万ユーロとなりました。第3四半期におけるアジアの売上高は、ワクチンの回復と、エスタブリッシュ処方製品および糖尿病の成長に牽引された中国での好業績(CS ベースで 12.3%増の 5 億 4,600 万ユーロ)を反映し、10.9%増(CS ベースで 9.5%増)の 9 億 4,100 万ユーロとなりました。第3四半期における中南米の売上高は、9.0%増(CS ベースで 1.6%増)の 6 億 7,600 万ユーロとなりました。第3四半期におけるブラジルでの売上高は、受注時期の調整による希少疾患製品の売上高減少と Dengvaxia の売上高減少により、CS ベースで 3.8%減の 2 億 6,900 万ユーロとなりました。第3四半期におけるユーラシア地域の売上高は、ロシアとトルコ的大幅成長に支えられ、32.1%増(CS ベースで 25.5%増)の 3 億 300 万ユーロとなりました。期中におけるロシアの売上高は、CHC とワクチンに牽引され、43.4%増(CS ベースで 32.2%増)の 1 億 5,800 万ユーロとなりました。アフリカおよび中東の売上高は、7.8%増(CS ベースで 4.0%増)の 5 億 7,200 万ユーロでした。年初からの新興市場の売上高は、CS ベースで 7.4%増の 76 億 8,900 万ユーロでした。

第3四半期における欧州での売上高は、多発性硬化症製品群(14.3%増)とワクチン(9.8%増)の好業績によって、Lovenox(10.9%減)、糖尿病(3.1%減)、およびジェネリック医薬品(7.1%減)の売上高減少が十分に相殺されず、8.2%増(CS ベースで 1.6%減)の 22 億 9,700 万ユーロとなりました。年初からの欧州の売上高は、CS ベースで 0.3%減の 70 億 5,800 万ユーロでした。

第3四半期における日本の売上高は、6.8%増の 3 億 8,600 万ユーロとなりました。日本の売上高は、Plavix[®](プラビックス)におけるジェネリック医薬品との競合、Aprovel[®]/Avapro[®]およびワクチンの売上高減少の影響を受け、CS ベースで 12.0%減となりました。年初からの日本の売上高は、CS ベースで 6.7%減の 13 億 8,700 万ユーロでした。

研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録 6 を参照。

薬事関連の最新情報

2017 年 7 月 31 日の 2017 年度第 2 四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 9 月、欧州委員会 (EC) は、全身療法の対象となる中等症から重症のアトピー性皮膚炎の成人患者に対する治療薬として、**Dupilumab**[®] (一般名: dupilumab) の販売許可を付与しました。
- 9 月、米国食品医薬品局 (FDA) は、転移性皮膚扁平上皮がん (CSCC) の成人患者および局所進行および切除不能 CSCC の成人患者を対象とする治療薬として、**cemiplimab** (REGN2810/SAR439684) を画期的治療薬に指定しました。サノフィと Regeneron 社が共同開発中の **cemiplimab** は、PD-1 を標的とする治験段階にあるヒトモノクローナル抗体です。
- 9 月、米国食品医薬品局 (FDA) は、即効型ヒトインスリンアナログの **Admelog**[®] (インスリン リスプロ) 100 単位/mL を仮承認しました。サノフィはパラグラフ IV 証明を申請しましたが、イーライ・リリー社はハッチ・ワックスマン法に基づき 45 日以内にサノフィに訴訟を提起しませんでした。サノフィは、**Admelog** の全面的な承認を取得して米国内で発売するため、米国食品医薬品局 (FDA) と緊密に協力しています。

2017 年 10 月末時点の研究開発パイプラインは、臨床開発段階にある 44 の新規分子化合物 (ライフサイクルマネジメントを除く) およびワクチンの候補から構成され、そのうち 13 は第 III 相あるいは規制当局に承認申請を行っている段階にあります。

ポートフォリオの最新情報

第 III 相:

- 10 月、サノフィと Regeneron 社は、重症のステロイド剤依存性喘息の成人および若年患者を対象に **dupilumab** を評価する第 III 相 LIBERTY ASTHMA VENTURE 試験が主要評価項目と主要な副次的評価項目を達成したことを発表しました。試験結果から、**dupilumab** がステロイド剤使用量と喘息発作を有意に減少させ、肺機能を改善することが明らかになりました。
- 9 月、サノフィと Alnylam 社は、ポリニューロパチーを有する遺伝性 ATTR (hATTR) アミロイドーシス患者を対象に **patisirán** を評価する第 III 相 APOLLO 試験の肯定的な重要結果を発表しました。本試験は、主要有効性評価項目とすべての副次的評価項目を達成しました。
- 9 月、サノフィと Regeneron 社は、免疫抑制剤シクロスポリン A (CSA) による治療では十分なコントロールが行えない、または CSA に対する忍容性が低い、あるいは CSA による治療が推奨されない中等症から重症のアトピー性皮膚炎患者を対象に **Dupilumab**[®] を評価する第 III 相 CAFÉ 試験の肯定的な結果を発表しました。本試験の結果は、欧州皮膚科性病学会議 (EADV) にて発表されました。
- 9 月、サノフィと Regeneron 社は、コントロール不良の幅広い持続型喘息患者を対象としたピボタル第 III 相 LIBERTY ASTHMA QUEST 試験が 2 つの主要評価項目を達成したことを発表しました。標準治療に **dupilumab** を追加投与した結果、重度の喘息発作 (増悪) 回数の減少、肺機能の改善を認めました。
- 9 月、サノフィの提携パートナーである Alnylam Pharmaceuticals は、安全性イベント (**fitusiran** の第 II 相非盲検延長試験に登録された阻害剤を投与していない血友病 A 患者に発生する致死性血栓塞栓イベント) の詳細な調査結果が明らかになり、リスク緩和策が策定されるまで、進行中のすべての **fitusiran** 試験での投与を中断することを発表しました。**fitusiran** のベネフィット・リスクプロファイルに関する全般的な検討に基づき、Alnylam 社は、各国の規制当局の合意を得て、患者の安全性モニタリングを拡大するよう適切にプロトコルを修正し、できる限り早期に投与を再開することを目指しています。
- 即効型インスリン **SAR341402** の第 III 相試験が開始されました。
- 子宮頸がんの二次治療薬として PD1 阻害剤の **Cemiplimab** の第 III 相試験が開始されました。

第II相:

- 10月、世界胃腸病学会(WCOG)において、中等症から重症の活動性好酸球性食道炎患者を対象に **dupilumab** を評価する第II相試験の肯定的な結果が発表されました。本試験では、プラセボと比較して、**dupilumab** を毎週投与した患者が嚥下能力の有意な改善を示したことが明らかになりました。
- 微小血管性狭心症における rho キナーゼ阻害剤である **SAR407899** が第IIa相に入りました。
- サノフィは、特発性肺線維症における **SAR156597** の開発を中止することを決定しました。

第I相:

- サノフィは、不活化ジカ熱ワクチンの製造および臨床開発に資金提供することを目的としたサノフィパスツールとの契約範囲を縮小するという生物医学先端研究開発局(BARDA)の決定を受け、ジカ熱ワクチン候補に関してウォルター・リード陸軍研究所との開発を継続せず、ライセンスを取得しない意向を示しました。

2017年度第3四半期および年初から9カ月間の業績⁽⁹⁾

事業純利益⁽⁹⁾

2017年度第3四半期におけるサノフィの売上高は、0.3%増(CERベースで4.7%増)の90億5,300万ユーロとなりました。年初から9カ月間の純売上高は、前年同期比(調整前)5.7%増(CERベースで6.2%増)の263億6,400万ユーロとなりました。

第3四半期における**その他収益**は、VaxServeによるサノフィ製品以外の売上高2億6,800万ユーロ(CERベースで49.5%増)を反映して、27.3%増(CERベースで33.3%増)の3億4,000万ユーロとなりました。年初から9カ月間における**その他収益**は、VaxServeによる売上高6億3,600万ユーロ(CERベースで77.5%増)を反映して、48.9%増(CERベースで49.7%増)の8億5,900万ユーロとなりました。

第3四半期における**売上総利益**は、0.3%増(CERベースで5.0%増)の65億4,000万ユーロとなりました。第3四半期の売上総利益はCERおよびCSベース*で0.2%増となりました。売上総利益率は、前年同期並みの72.2%でした。ワクチン、中国、免疫領域の売上総利益に対する好影響は、米国での糖尿病卸値のマイナス変動および為替変動により相殺されました。第3四半期の医薬品の売上総利益率は0.5ポイント低下し72.8%となり、ワクチンの売上総利益率は2.6ポイント改善し70.3%でした。2017年度年初から9カ月間の売上総利益率は、前年同期と比較し0.3ポイント改善し71.6%となりました。サノフィは、2017年度の売上総利益率がCERベースで70%~71%となるものと予想しています。

第3四半期における**研究開発費**は、9.8%増(CERベースで12.9%増)の13億4,100万ユーロとなりました。研究開発費は、腫瘍免疫領域およびsotagliflozinの開発プログラムへの支出増に加え、前年同期の低い比較基準を反映して、CERおよびCSベース*で10.7%増となりました。年初から9カ月間における研究開発費は、7.3%増(CERベースで7.3%増、CERおよびCSベースで5.3%増)の40億800万ユーロとなりました。

第3四半期における**販売費および一般管理費(SG&A)**は、1.8%増(CERベースで5.9%増)の23億1,400万ユーロでした。SG&Aは、コスト削減効果の向上を反映して、CERおよびCSベース*で2.1%減となりました。免疫領域での発売コストにもかかわらず、米国での糖尿病領域の販売費削減とさらなるコスト削減努力の結果、販売費はCERおよびCSベース*でわずかに減少しました。第3四半期の売上高に占めるSG&Aの割合は、前年同期比で0.4ポイント増加し、25.6%となりました。年初から9カ月間におけるSG&Aは、6.9%増(CERベースで7.1%増、CERおよびCSベース*で0.4%減)の73億6,000万ユーロとなりました。年初から9カ月間の売上高に占めるSG&Aの割合は、前年同期比で0.3ポイント増加し、27.9%となりました。

第3四半期における**その他の当期営業収益(費用控除後)**は、前年同期の1億1,900万ユーロの損失に対し、1,600万ユーロの利益となりました。2017年度第3四半期の本項目には、キャピタルゲインおよび訴訟調停に関連する6,800万ユーロの利益が含まれます。年初から9カ月間におけるその他の当期営業収益(費用控除後)は、前年同期の4,900万ユーロの損失に対し、1億1,800万ユーロの利益となりました。

第3四半期における**関連会社持分利益**は、前年同期の7,100万ユーロに対し、4,000万ユーロとなりました。関連会社持分利益には、Regeneron社の利益に占める当社の持分が含まれます。2016年度第3四半期の本項目には、サノフィパスツールMSDの利益に占める当社の持分の2,900万ユーロが含まれます。年初から9カ月間における関連会社持分利益は、前年同期の1億2,400万ユーロに対し、1億2,100万ユーロとなりました。

⁽⁹⁾ 2017年度第3四半期および年初から9カ月間の連結損益計算書については付録3、財務指標の定義については付録8、IFRS純利益(為替調整前)から事業純利益への調整については付録4を参照

* BI CHC 事業、SPMSD 終了、その他に応じて調整

第3四半期における**非支配株主に帰属する純利益**は、前年同期の3,100万ユーロの損失に対し、3,000万ユーロの損失となりました。年初から9カ月間における非支配株主に帰属する純利益は、前年同期の8,100万ユーロの損失に対し、9,500万ユーロの損失となりました。

第3四半期における**事業営業利益**は、1.2%減の29億1,100万ユーロとなりました。事業営業利益はCERベースで5.1%増でした。事業営業利益はCERおよびCSベース*で1.7%増でした。第3四半期の純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期比で0.4ポイント減少し、32.2%となりました。第3四半期の医薬品の事業営業利益率は1.2ポイント減の27.4%、ワクチンの事業営業利益率は0.4ポイント増の51.1%となりました。年初から9カ月間における事業営業利益は、6.9%増(CERベースで8.0%増)の76億5,200万ユーロとなりました。事業営業利益はCERおよびCSベース*で4.1%増でした。2017年度年初から9カ月間の純売上高に占める事業営業利益の割合は、0.3ポイント増加し、29.0%となりました。

第3四半期における**純財務費用**は、前年同期の8,300万ユーロに対し、7,700万ユーロでした。年初から9カ月間における純財務費用は、前年同期の2億7,400万ユーロに対し、2億ユーロでした。

第3四半期(および年初から9カ月間)の**実効税率**は、前年同期の23.3%に対し、24.5%でした。

第3四半期における**事業純利益**⁽⁹⁾は、6.9%減(CERベースで1.1%減)の21億4,100万ユーロとなりました。第3四半期の純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期比で0.8ポイント減少し、23.6%となりました(動物用医薬品事業を除く)。年初から9カ月間における事業純利益は、前年同期比1.2%減(CERベースで0.3%減)の56億3,200万ユーロとなりました。年初から9カ月間の純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期比で0.1ポイント増加し、21.4%となりました(動物用医薬品事業を除く)。

2017年度第3四半期の**1株当たり事業純利益**⁽⁹⁾(EPS)は、為替調整前では4.5%減の1.71ユーロ、CERベースで1.1%増となりました。2017年度第3四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の12億8,850万株に対し、12億5,430万株となりました。

2017年度年初から9カ月間の**1株当たり事業利益**⁽⁹⁾は、調整前では1.1%増の4.48ユーロ、CERベースで2.0%増となりました。2017年度年初から9カ月間の期中平均発行済み株式数は、前年同期の12億8,790万株に対し、12億5,830万株となりました。

2017年度通年の見通し

重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2017年度通年の1株当たり事業純利益⁽⁹⁾の見通しをCERベースで概ね一定と確認します。また、2017年9月の平均レートを2017年度第4四半期に適用すると、-1%~2%の為替レート変動の影響が2017年度通年の1株当たり事業純利益に生じると予測されます。

IFRS純利益(為替調整前)から事業純利益への調整(付録4を参照)

2017年度年初から9カ月間のIFRS純利益は、BIのCHC事業の取得とサノフィの欧州ワクチン事業が全面的に連結対象となったことを反映して、83億500万ユーロとなりました。事業純利益から除外される主な項目は、以下のとおりです。

- 動物用医薬品事業の交換に伴う44億8,400万ユーロの純売却益
- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの2億8,500万ユーロ、ジェンザイムの6億5,800万ユーロ、BI CHC事業の1億8,800万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:1億500万ユーロ)に関連した償却費、14億2,400万ユーロ。2017年度第3四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの8,100万ユーロ、ジェンザイムの2億ユーロ、BI CHC事業の5,500万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:3,400万ユーロ)に関連した償却費、4億3,400万ユーロを計上しました。これらの項目によって、カンパニーにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 無形固定資産に対する減損、3,100万ユーロ(このうち1,900万ユーロが2017年度第3四半期に計上)。この項目によって、カンパニーにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- Lemtrada[®]に関連するバイエル社の偶発対価の増加(8,600万ユーロの費用。このうち200万ユーロが2017年度第3四半期に計上)およびサノフィパストールMSD終了に関連する偶発対価の公正価値での調整(7,500万ユーロが2017年度第3四半期に計上)を反映した1億7,400万ユーロの費用(このうち7,400万ユーロが2017年度第3四半期に計上)。

(9) 2017年度第3四半期および年初から9カ月間の連結損益計算書については付録3、財務指標の定義については付録8、IFRS純利益(為替調整前)から事業純利益への調整については付録4を参照

- 在庫に対する BI CHC 事業の取得およびサノフィパストール MSD 終了の影響によって生じた 1 億 7,600 万ユーロの費用。
- 主に合理化イニシアチブと生産ネットワークの合理化に関連する事業再編費用および類似項目、6 億 1,300 万ユーロ(このうち 2 億 4,900 万ユーロが 2017 年度第 3 四半期に計上)。
- 上記項目から生じた 9 億 900 万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金 4 億 6,700 万ユーロ、事業再編費用および類似項目に関連した 2 億 1,600 万ユーロ、在庫に対する買収の影響に関連した 5,600 万ユーロ、および偶発対価の公正価値での再評価に関連した 3,300 万ユーロから構成される)。
- 第 3 四半期の税効果は、無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金 1 億 3,400 万ユーロと事業再編費用および類似項目に関連する 9,000 万ユーロを含め、2 億 8,100 万ユーロとなった(付録 4 を参照)。
- サノフィ株主に支払った配当に対する 1 億 1,100 万ユーロの税金
2017 年 10 月 6 日、フランス憲法院 (Conseil Constitutionnel) は、2012 年 8 月以降、現金で支払われた配当に対する 3% の追加負担金を無効と宣告しました。カンパニーは、2017 年度第 4 四半期に、本決定および追加税制措置の影響を計上します。
- 関連会社とジョイントベンチャーに対する買収の影響から生じる費用に関連した 4,100 万ユーロの費用(税控除後)(このうち 200 万ユーロの利益が 2017 年度第 3 四半期に計上)。

資本配分

10 億 900 万ユーロの資本支出と 14 億 6,000 万ユーロの運転資本の増加を考慮した 2017 年度年初から 9 カ月間における営業活動からの純キャッシュは、41 億 5,600 万ユーロとなりました。この純キャッシュフローは、買収・提携(売却を控除)(9 億 2,400 万ユーロ)、事業再編費用および類似項目(6 億 2,100 万ユーロ)のための財源に充当しました。BI CHC 事業とサノフィの動物用医薬品事業の交換は、40 億 6,200 万ユーロの純キャッシュフローを生み出し、その一部を期中における株式の買い戻し(21 億 5,800 万ユーロ)のための財源に充当しました。純負債は、2016 年 12 月 31 日時点の 82 億 600 万ユーロから 2017 年 9 月 30 日時点の 69 億 6,100 万ユーロ(98 億 8,700 万ユーロの現金および現金等価物を控除)へと減少しました。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べる記述ではありません。これらの記述には、製品の販売その他の可能性や製品から将来的に収益を得られる可能性に関する予測と見積もりが含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、製品の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼす予期せぬ規制措置、遅延、あるいは政府規制、製品が商業的に成功するという保証の欠如、市販後を含む製品に関連する今後の臨床データおよび既存の臨床データの解析を含め、研究開発に付随する不確実性、予期せぬ安全性、品質、または製造の問題、競合全般、知的財産権やそれに関連した将来の訴訟、ならびにそのような訴訟の最終結果に関連するリスク、不安定な経済情勢、ならびにサノフィの 2016 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているリスクが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。

付録

付録一覧

- 付録 1: 2017 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の GBU 別・製品群別・地域別・製品別純売上高
- 付録 2: 2017 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の事業純利益計算書
- 付録 3: 2017 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の連結損益計算書
- 付録 4: IFRS 純利益(為替調整前)から事業純利益への調整
- 付録 5: 為替感度
- 付録 6: 研究開発パイプライン
- 付録 7: 見込まれる研究開発マイルストーン
- 付録 8: GAAP(一般会計原則)と異なる財務指標の定義

付録1:2017年度第3四半期のGBU別・製品群別・地域別・製品別純売上高

2017年度第3四半期 (単位:100万ユーロ)	GBU 合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前	欧州	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)	新興市場	前年度比 (CER)	製品群 合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前
Aubagio	374	19.3%	14.7%	86	16.0%	274	20.9%	14	8.3%	8	12.5%	382	19.2%	14.4%
Lemtrada	107	3.7%	0.0%	40	10.8%	60	0.0%	7	0.0%	6	40.0%	113	5.4%	0.9%
多発性硬化症合計	481	15.5%	11.1%	126	14.3%	334	16.5%	21	5.6%	14	23.1%	495	15.7%	11.0%
Cerezyme (セラゼイム)	119	-3.9%	-6.3%	68	0.0%	42	-6.5%	9	-15.4%	59	14.3%	178	1.6%	-2.7%
Cerdelga (サデルガ)	31	14.3%	10.7%	7	75.0%	23	4.3%	1	0.0%	0	-	31	14.3%	10.7%
Myozyme (マイオザイム)	166	6.9%	4.4%	88	3.6%	63	8.2%	15	21.4%	25	0.0%	191	5.9%	3.2%
Fabrazyme (ファブラザイム)	158	8.6%	3.9%	40	2.6%	89	9.3%	29	14.8%	17	-20.8%	175	4.5%	-0.6%
Aldurazyme (アウドラザイム)	35	2.9%	0.0%	18	0.0%	10	0.0%	7	16.7%	15	-11.1%	50	-1.9%	-5.7%
希少疾患合計	570	3.0%	-0.5%	233	1.7%	252	1.9%	85	9.4%	128	1.5%	698	2.7%	-1.4%
Taxotere (タキソテール)	8	-9.1%	-27.3%	1	0.0%	-1	-200.0%	8	11.1%	34	5.9%	42	2.2%	-6.7%
Jevtana (ジェブタナ)	85	9.9%	4.9%	35	6.1%	38	7.9%	12	30.0%	5	-28.6%	90	6.8%	2.3%
Eloxatine	8	28.6%	14.3%	1	0.0%	1	-	6	16.7%	37	8.3%	45	11.6%	4.7%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	54	0.0%	-3.6%	10	11.1%	37	-2.4%	7	0.0%	17	28.6%	71	5.7%	1.4%
Mozobil (モンビル)	40	10.8%	8.1%	11	0.0%	25	12.5%	4	50.0%	3	50.0%	43	12.8%	10.3%
Zaltrap (ザルトラップ)	17	13.3%	13.3%	12	0.0%	2	-50.0%	3	-400.0%	2	100.0%	19	18.8%	18.8%
オンコロジー合計	262	3.8%	-0.8%	83	0.0%	134	-2.7%	45	40.0%	101	8.1%	363	5.0%	0.0%
Dupixent	75	-	-	1	-	74	-	0	-	0	-	75	-	-
Kevzara	2	-	-	0	-	2	-	0	-	0	-	2	-	-
免疫合計	77	-	-	1	-	76	-	0	-	0	-	77	-	-
サノフィジェンザイム(スペシャルティケア)	1,390	13.9%	9.4%	443	5.0%	796	18.6%	151	16.7%	243	5.3%	1,633	12.5%	7.6%
Lantus (ランタス)	867	-22.0%	-25.2%	184	-14.0%	608	-25.4%	75	-8.1%	256	17.2%	1,123	-15.5%	-19.3%
Apidra (アピドラ)	67	-6.7%	-10.7%	35	9.4%	21	-25.8%	11	0.0%	22	26.3%	89	0.0%	-5.3%
Amaryl (アマリール)	12	-33.3%	-33.3%	5	0.0%	0	-100.0%	7	-41.7%	70	4.1%	82	-3.3%	-10.9%
Insuman	19	-9.5%	-9.5%	18	-10.0%	1	0.0%	0	-	7	-36.4%	26	-18.8%	-18.8%
Soliqua/iGlarLixi	8	-	-	0	-	7	-	1	-	0	-	8	-	-
Toujeo (ランタス XR)	179	14.0%	9.1%	54	66.7%	108	-6.6%	17	100.0%	19	533.3%	198	23.4%	18.6%
糖尿病合計	1,177	-16.3%	-19.6%	313	-3.1%	745	-22.4%	119	-1.6%	375	17.3%	1,552	-10.0%	-14.0%
Multaq	80	-4.6%	-8.0%	10	0.0%	67	-5.3%	3	0.0%	1	0.0%	81	-4.5%	-9.0%
Praluent (プラルエント)	41	26.5%	20.6%	12	100.0%	28	0.0%	1	-	1	0.0%	42	25.7%	20.0%
循環器合計	121	4.1%	0.0%	22	35.3%	95	-3.9%	4	300.0%	2	0.0%	123	4.0%	-0.8%
糖尿病および循環器	1,298	-14.8%	-18.1%	335	-1.2%	840	-20.7%	123	0.8%	377	17.2%	1,675	-9.1%	-13.2%
Plavix (プラビックス)	358	-4.7%	-10.7%	37	-7.5%	0	-	67	-28.2%	254	5.0%	358	-4.7%	-10.7%
Lovenox	370	-5.4%	-8.4%	220	-10.9%	15	25.0%	23	-4.2%	112	2.5%	370	-5.4%	-8.4%
Renagel (レナジェル)/ Renvela	153	-35.1%	-37.6%	18	-10.0%	112	-42.7%	10	-10.0%	13	55.6%	153	-35.1%	-37.6%
Aprovel	150	-9.8%	-13.8%	28	-12.5%	3	-40.0%	17	-47.1%	102	4.9%	150	-9.8%	-13.8%
Allegra (アレグラ)	24	-16.1%	-22.6%	1	0.0%	0	-	23	-17.2%	0	-	24	-16.1%	-22.6%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	63	-13.0%	-18.2%	10	-9.1%	12	-38.1%	26	-3.3%	15	0.0%	63	-13.0%	-18.2%
Synvisc (サイビスク)/ Synvisc One	95	-2.0%	-5.0%	6	-14.3%	73	-2.6%	2	-50.0%	14	27.3%	95	-2.0%	-5.0%
Depakine	111	13.7%	8.8%	40	5.0%	0	-	5	33.3%	66	20.3%	111	13.7%	8.8%
Tritace	56	-4.9%	-8.2%	35	-5.3%	0	-	2	-100.0%	19	0.0%	56	-4.9%	-8.2%
Lasix (ラシックス)	34	0.0%	-8.1%	18	-5.3%	0	-	3	0.0%	13	7.7%	34	0.0%	-8.1%
Targocid (タゴシッド)	30	-17.9%	-23.1%	13	-31.6%	0	-	1	0.0%	16	-5.6%	30	-17.9%	-23.1%
その他の処方薬	820	-0.9%	-5.1%	390	2.1%	46	-11.3%	82	-9.9%	302	0.3%	820	-0.9%	-5.1%
エスタブリッシュ処方製品合計	2,264	-6.5%	-10.7%	816	-4.4%	261	-27.5%	261	-18.5%	926	4.4%	2,264	-6.5%	-10.7%
ジェネリック医薬品	433	-0.9%	-4.4%	183	-7.1%	41	13.2%	23	22.7%	186	0.0%	433	-0.9%	-4.4%
新興市場スペシャルティケア合計	243	5.3%	-1.6%							243	5.3%			
新興市場糖尿病および循環器合計	377	17.2%	9.6%							377	17.2%			
ジェネラル医薬品および新興市場	3,317	-2.7%	-7.3%	999	-4.9%	302	-23.7%	284	-16.1%	1,732	6.6%			
アレルギー薬/鎮咳去痰薬/感冒薬	264	52.8%	46.7%	80	189.3%	63	-8.3%	35	164.3%	86	37.9%	264	52.8%	46.7%
鎮痛薬	309	50.5%	44.4%	119	36.8%	37	-2.5%	31	1066.7%	122	53.6%	309	50.5%	44.4%
消化器用薬	220	97.4%	91.3%	65	80.6%	48	900.0%	13	400.0%	94	36.6%	220	97.4%	91.3%
栄養補助製品	162	38.0%	33.9%	27	22.7%	0	-100.0%	63	50.0%	72	37.0%	162	38.0%	33.9%
コンシューマーヘルスケア	1,132	48.5%	43.1%	321	65.1%	241	17.6%	159	150.0%	411	37.5%	1,132	48.5%	43.1%
医薬品合計	7,137	3.2%	-1.2%	2,098	4.6%	2,179	-6.5%	717	9.1%	2,143	11.3%	7,137	3.2%	-1.2%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)	433	38.6%	33.6%	75	226.1%	107	23.1%	28	-22.5%	223	35.9%	433	38.6%	33.6%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン	143	42.3%	37.5%	37	236.4%	92	29.3%	6	-16.7%	8	-25.0%	143	42.3%	37.5%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	252	3.9%	-0.8%	0	-100.0%	213	1.4%	7	100.0%	32	14.3%	252	3.9%	-0.8%
インフルエンザワクチン	951	1.0%	-3.8%	65	-13.2%	802	1.3%	24	100.0%	60	-4.5%	951	1.0%	-3.8%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	114	53.2%	48.1%	21	340.0%	35	68.2%	13	0.0%	45	23.7%	114	53.2%	48.1%
デング熱	4	-90.0%	-86.7%	0	-	0	-	0	-	4	-90.0%	4	-90.0%	-86.7%
ワクチン	1,916	11.0%	6.3%	199	68.9%	1,263	5.5%	80	9.0%	374	11.9%	1,916	11.0%	6.3%
カンパニー合計	9,053	4.7%	0.3%	2,297	8.2%	3,442	-2.4%	797	9.1%	2,517	11.4%	9,053	4.7%	0.3%

2017 年度年初から 9 カ月間の GBU 別・製品群別・地域別・製品別純売上高

2017 年度 年初から 9 カ月間の純売上高 (単位:100 万ユーロ)	GBU			欧州			米国			その他			新興市場		製品群			
	合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前	合計	前年度比 (CER)	調整前	合計	前年度比 (CER)	調整前	合計	前年度比 (CER)	調整前	合計	前年度比 (CER)	調整前	合計	前年度比 (CER)	調整前
Aubagio	1,151	27.1%	27.3%	291	27.5%		818	27.1%		42	25.0%		27	20.8%		1,178	26.9%	26.9%
Lemtrada	345	18.0%	16.9%	132	21.4%		190	14.5%		23	29.4%		17	30.8%		362	18.5%	17.5%
多発性硬化症合計	1,496	24.9%	24.8%	423	25.5%		1,008	24.5%		65	26.5%		44	24.3%		1,540	24.8%	24.6%
Cerezyme (セラゼイム)	372	-2.4%	-2.6%	207	-1.0%		134	-1.5%		31	-13.5%		175	-0.5%		547	-1.8%	-3.0%
Cerdelga (サデルガ)	93	20.8%	20.8%	18	50.0%		71	14.5%		4	33.3%		0	-		93	20.8%	20.8%
Myozyme (マイオザイム)	499	8.7%	8.2%	257	4.9%		198	13.2%		44	12.5%		85	15.3%		584	9.6%	9.6%
Fabrazyme (ファブラザイム)	482	9.8%	9.3%	121	5.2%		278	10.8%		83	13.3%		60	15.7%		542	10.4%	10.2%
Aldurazyme (アウドラザイム)	107	0.9%	0.9%	56	0.0%		32	0.0%		19	5.6%		52	17.8%		159	6.0%	5.3%
希少疾患合計	1,757	4.9%	4.5%	706	2.6%		799	6.9%		252	5.3%		405	7.4%		2,162	5.3%	4.9%
Taxotere (タキソテール)	29	-25.6%	-25.6%	3	0.0%		0	-100.0%		26	-21.2%		104	9.2%		133	-0.7%	-2.9%
Jevtana (ジェブタナ)	267	8.5%	7.7%	110	5.8%		119	5.3%		38	29.0%		20	5.6%		287	8.3%	7.9%
Eloxatine	25	-11.1%	-7.4%	3	0.0%		1	-		21	-16.7%		110	10.8%		135	6.2%	4.7%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	170	3.7%	4.3%	30	3.4%		122	4.3%		18	0.0%		49	22.0%		219	7.4%	7.4%
Mozobil (モゾビル)	117	11.4%	11.4%	33	3.1%		74	8.8%		10	100.0%		6	0.0%		123	10.8%	10.8%
Zaltrap (ザルトラップ)	47	0.0%	0.0%	38	5.6%		6	-45.5%		3	-		6	100.0%		53	6.0%	6.0%
オンコロジー合計	851	5.8%	5.8%	257	3.6%		463	6.7%		131	7.3%		307	11.8%		1,158	7.4%	6.8%
Dupixent	101	-	-	1	-		100	-		0	-		0	-		101	-	-
Kevzara	3	-	-	0	-		3	-		0	-		0	-		3	-	-
免疫合計	104	-	-	1	-		103	-		0	-		0	-		104	-	-
サノフィジェンザイム(スペシャルティケア)	4,208	14.5%	14.2%	1,387	9.0%		2,373	19.4%		448	8.4%		756	10.0%		4,964	13.8%	13.3%
Lantus (ランタス)	2,775	-21.7%	-21.6%	577	-14.3%		1,958	-24.9%		240	-10.2%		771	10.7%		3,546	-16.3%	-16.6%
Apidra (アピドラ)	211	-0.9%	-0.9%	102	7.4%		77	-10.5%		32	0.0%		69	20.3%		280	3.7%	2.9%
Amaryl (アマリール)	44	-18.5%	-18.5%	16	-23.8%		1	-50.0%		27	-12.9%		212	3.2%		256	-1.1%	-6.2%
Insuman	60	-7.7%	-7.7%	58	-7.9%		2	0.0%		0	-		21	-33.3%		81	-16.3%	-17.3%
Soliqua/GlarLixi	17	-	-	0	-		16	-		1	-		0	-		17	-	-
Toujeo (ランタス XR)	546	34.2%	34.2%	154	96.2%		345	12.4%		47	113.6%		54	1150.0%		600	45.0%	46.0%
糖尿病合計	3,731	-14.6%	-14.5%	964	-3.0%		2,398	-20.2%		369	-1.1%		1,131	12.5%		4,862	-9.5%	-9.9%
Multaq	257	0.8%	1.2%	32	-2.9%		221	0.9%		4	50.0%		5	0.0%		262	0.8%	1.2%
Praluent (プラルエント)	115	71.6%	71.6%	31	158.3%		81	45.5%		3	-		3	200.0%		118	73.5%	73.5%
循環器合計	372	15.6%	15.9%	63	39.1%		302	9.9%		7	250.0%		8	33.3%		380	15.9%	16.2%
糖尿病および循環器	4,103	-12.6%	-12.5%	1,027	-1.1%		2,700	-17.7%		376	0.3%		1,139	12.6%		5,242	-8.0%	-8.4%
Plavix (プラビックス)	1,123	-2.3%	-4.9%	115	-8.0%		0	-100.0%		226	-27.4%		782	9.4%		1,123	-2.3%	-4.9%
Lovenox	1,187	-1.9%	-2.9%	720	-4.9%		44	-6.5%		68	-5.9%		355	-2.9%		1,187	-1.9%	-2.9%
Renagel (レナジェル)/ Renvela	647	-6.7%	-5.8%	55	-12.7%		528	-8.4%		29	12.0%		35	24.1%		647	-6.7%	-5.8%
Aprovel	533	4.1%	2.9%	88	-10.2%		9	-18.2%		108	12.6%		328	6.7%		533	4.1%	2.9%
Allegra (アレグラ)	126	-13.8%	-13.1%	7	14.3%		0	-		119	-15.2%		0	-		126	-13.8%	-13.1%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	200	-11.6%	-11.1%	30	-9.1%		40	-33.3%		83	-6.7%		47	7.1%		200	-11.6%	-11.1%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	301	0.7%	1.3%	23	-4.2%		231	0.4%		10	-9.1%		37	9.1%		301	0.7%	1.3%
Depakine	332	10.1%	7.8%	121	1.7%		0	-		11	10.0%		200	15.8%		332	10.1%	7.8%
Tritace	180	-1.1%	-3.2%	113	-3.4%		0	-		4	0.0%		63	3.0%		180	-1.1%	-3.2%
Lasix (ラシックス)	105	-5.3%	-7.9%	55	-3.5%		0	-		9	-41.2%		41	7.5%		105	-5.3%	-7.9%
Targocid (タゴシッド)	102	-8.8%	-10.5%	48	-17.2%		0	-		4	0.0%		50	0.0%		102	-8.8%	-10.5%
その他の処方薬	2,627	-3.8%	-4.3%	1,229	-1.8%		159	-23.7%		278	-6.0%		961	-1.5%		2,627	-3.8%	-4.3%
エスタブリッシュ処方製品合計	7,463	-2.7%	-3.6%	2,604	-4.3%		1,011	-10.5%		949	-11.8%		2,899	5.4%		7,463	-2.7%	-3.6%
ジェネリック医薬品	1,343	-3.7%	-3.1%	571	-5.9%		110	-16.7%		87	30.9%		575	-2.4%		1,343	-3.7%	-3.1%
新興市場スペシャルティケア合計	756	10.0%	8.5%										756	10.0%				
新興市場糖尿病および循環器合計	1,139	12.6%	9.9%										1,139	12.6%				
ジェネラル医薬品および新興市場	10,701	-0.6%	-1.5%	3,175	-4.6%		1,121	-11.1%		1,036	-9.2%		5,369	6.6%				
アレルギー薬/鎮咳去痰薬/感冒薬	933	52.3%	53.0%	246	171.4%		305	7.5%		126	166.0%		256	33.2%		933	52.3%	53.0%
鎮痛薬	930	44.0%	44.6%	371	34.8%		127	7.7%		91	745.5%		341	40.2%		930	44.0%	44.6%
消化器用薬	688	77.8%	79.6%	226	67.4%		142	642.1%		41	760.0%		279	21.0%		688	77.8%	79.6%
栄養補助製品	496	42.5%	45.5%	90	23.3%		2	-33.3%		192	59.7%		212	39.7%		496	42.5%	45.5%
コンシューマーヘルスケア	3,636	44.5%	45.7%	1,035	59.5%		882	20.0%		503	144.9%		1,216	30.7%		3,636	44.5%	45.7%
医薬品合計	22,648	4.6%	4.2%	6,624	5.3%		7,076	-2.6%		2,363	10.6%		6,585	10.2%		22,648	4.6%	4.2%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ) 成人用ブースター(追加接種)ワクチン	1,334	40.4%	40.3%	215	166.7%		326	36.0%		111	7.8%		682	29.4%		1,334	40.4%	40.3%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン	337	18.1%	17.0%	83	129.7%		213	6.4%		19	-5.3%		22	-26.7%		337	18.1%	17.0%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	542	6.4%	5.2%	1	-75.0%		432	3.3%		29	141.7%		80	6.8%		542	6.4%	5.2%
インフルエンザワクチン	1,087	2.4%	-1.6%	65	-14.3%		805	1.3%		43	34.4%		174	10.1%		1,087	2.4%	-1.6%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	333	28.0%	27.6%	64	214.3%		106	16.5%		41	14.3%		122	7.0%		333	28.0%	27.6%
デング熱	22	-56.0%	-56.0%	0	-		0	-		0	-		22	-56.0%		22	-56.0%	-56.0%
ワクチン	3,716	17.0%	15.2%	434	96.0%		1,928	7.8%		250	19.7%		1,104	15.4%		3,716	17.0%	15.2%
カンパニー合計	26,364	6.2%	5.7%	7,058	8.4%		9,004	-0.5%		2,613	11.4%		7,689	10.9%		26,364	6.2%	5.7%

付録 2: 事業純利益計算書

2017 年度 第 3 四半期 (単位:100 万 ユーロ)	医薬品			ワクチン			その他		グループ合計		
	Q3 2017	Q3 2016	前年度比	Q3 2017	Q3 2016	前年度比	Q3 2017	Q3 2016	Q3 2017	Q3 2016	前年度比
純売上高	7,137	7,225	(1.2%)	1,916	1,803	6.3%			9,053	9,028	0.3%
その他収益	72	69	4.3%	268	198	35.4%			340	267	27.3%
売上原価	(2,015)	(1,996)	1.0%	(838)	(780)	7.4%			(2,853)	(2,776)	2.8%
純売上高に占める割合	(28.2%)	(27.6%)		(43.7%)	(43.3%)				(31.5%)	(30.7%)	
売上総利益	5,194	5,298	(2.0%)	1,346	1,221	10.2%			6,540	6,519	0.3%
純売上高に占める割合	72.8%	73.3%		70.3%	67.7%				72.2%	72.2%	
研究開発費	(1,184)	(1,080)	9.6%	(157)	(141)	11.3%			(1,341)	(1,221)	9.8%
純売上高に占める割合	(16.6%)	(14.9%)		(8.2%)	(7.8%)				(14.8%)	(13.5%)	
販売費および一般管理費	(2,107)	(2,081)	1.2%	(206)	(193)	6.7%	(1)	-	(2,314)	(2,274)	1.8%
純売上高に占める割合	(29.5%)	(28.8%)		(10.8%)	(10.7%)				(25.6%)	(25.2%)	
その他の当期営業損益	43	(83)		(8)	1		(19)	(37)	16	(119)	
関連会社*および合弁会社持分利益	37	44		3	27				40	71	
非支配株主に帰属する純利益	(31)	(31)		1	-				(30)	(31)	
事業営業利益	1,952	2,067	(5.6%)	979	915	7.0%	(20)	(37)	2,911	2,945	(1.2%)
純売上高に占める割合	27.4%	28.6%		51.1%	50.7%				32.2%	32.6%	
									(77)	(83)	
									(693)	(658)	
									24.5%	23.3%	
									2,141	2,204	(2.9%)
									23.6%	24.4%	
									-	96	
									2,141	2,300	(6.9%)
									1.71	1.79	(4.5%)

* 税控除後

** 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

*** 2017 年度第 3 四半期の 12 億 5,430 万株、前年同期の 12 億 8,850 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

2017年度年初 から9カ月間 (単位:100万 ユーロ)	医薬品			ワクチン			その他		グループ合計		
	9M 2017	9M 2016	前年度比	9M 2017	9M 2016	前年度 比	9M 2017	9M 2016	9M 2017	9M 2016	前年度比
純売上高	22,648	21,729	4.2%	3,716	3,225	15.2%			26,364	24,954	5.7%
その他収益	221	191	15.7%	638	386	65.3%			859	577	48.9%
売上原価	(6,378)	(6,139)	3.9%	(1,969)	(1,607)	22.5%			(8,347)	(7,746)	7.8%
純売上高に占める 割合	(28.2%)	(28.3%)		(53.0%)	(49.8%)				(31.7%)	(31.0%)	
売上総利益	16,491	15,781	4.5%	2,385	2,004	19.0%			18,876	17,785	6.1%
純売上高に占める 割合	72.8%	72.6%		64.2%	62.1%				71.6%	71.3%	
研究開発費	(3,557)	(3,326)	6.9%	(451)	(409)	10.3%			(4,008)	(3,735)	7.3%
純売上高に占める 割合	(15.7%)	(15.3%)		(12.1%)	(12.7%)				(15.2%)	(15.0%)	
販売費および一般 管理費	(6,716)	(6,342)	5.9%	(643)	(541)	18.9%	(1)	-	(7,360)	(6,883)	6.9%
純売上高に占める 割合	(29.7%)	(29.2%)		(17.3%)	(16.8%)				(27.9%)	(27.6%)	
その他の当期営業 損益	165	27		(6)	-		(41)	(76)	118	(49)	
関連会社*および合 弁会社持分利益	119	88		2	36				121	124	
非支配株主に帰属 する純利益	(96)	(81)		1	-				(95)	(81)	
事業営業利益	6,406	6,147	4.2%	1,288	1,090	18.2%	(42)	(76)	7,652	7,161	6.9%
純売上高に占める 割合	28.3%	28.3%		34.7%	33.8%				29.0%	28.7%	
									(200)	(274)	
									(1,820)	(1,580)	
									24.5%	23.1%	
									5,632	5,307	6.1%
									21.4%	21.3%	
									-	395	
									5,632	5,702	(1.2%)
									4.48	4.43	1.1%

* 税控除後

** 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

*** 2017年度年初から9カ月間の12億5,830万株、前年同期の12億8,790万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 3: 連結損益計算書

(単位: 100 万ユーロ)	2017 年度 第 3 四半期 ⁽¹⁾	2016 年度 第 3 四半期 ⁽¹⁾	2017 年度 年初から 9 カ月間 ⁽¹⁾	2016 年度 年初から 9 カ月間 ⁽¹⁾
純売上高	9,053	9,028	26,364	24,954
その他収益	340	267	859	577
売上原価	(2,853)	(2,776)	(8,523)	(7,746)
売上総利益	6,540	6,519	18,700	17,785
研究開発費	(1,341)	(1,221)	(4,008)	(3,735)
販売費および一般管理費	(2,314)	(2,274)	(7,360)	(6,883)
その他の当期営業収益	54	34	227	299
その他の当期営業費用	(38)	(153)	(109)	(348)
無形固定資産の償却	(434)	(403)	(1,424)	(1,280)
無形固定資産の減損	(19)	(21)	(31)	(73)
偶発対価債務の公正価値での再評価	(74)	(27)	(174)	(94)
事業再編費用および類似項目	(249)	(63)	(613)	(690)
その他の損益および訴訟費用	(147)	–	(154)	–
営業利益	1,978	2,391	5,054	4,981
財務費用	(103)	(261)	(321)	(502)
財務収益	26	17	121	67
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	1,901	2,147	4,854	4,546
法人税	(412)	(460)	(1,022)	(957)
関連会社および合弁会社持分利益	42	6	80	104
交換した/交換するために保留している動物用医薬品事業を除く純利益	1,531	1,693	3,912	3,693
交換した/交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益	63	10	4,484	296
純利益	1,594	1,703	8,396	3,989
非支配持分純利益	27	29	91	70
当社株主に帰属する純利益	1,567	1,674	8,305	3,919
期中平均発行済み株式数(単位: 100 万株)	1,254.3	1,288.5	1,258.3	1,287.9
交換した/交換するために保留している動物用医薬品事業を除く 1 株当たり純利益(単位: ユーロ)	1.20	1.29	3.04	2.81
IFRS 1 株あたり利益(単位: ユーロ)	1.25	1.30	6.60	3.04

(1) 動物用医薬品事業の業績および売却益は、IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、別途報告される

付録 4: 当社株主に帰属する純利益から事業純利益への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2017 年度 第 3 四半期	2016 年度 第 3 四半期	前年度比
当社株主に帰属する純利益	1,567	1,674	(6.4%)
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	434	403	
無形固定資産の減損	19	21	
偶発対価債務の公正価値での再評価	74	27	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	-	
事業再編費用および類似項目	249	63	
その他の損益および訴訟費用 ⁽²⁾	147	161	
上記項目の税効果:	(281)	(198)	
無形固定資産の償却	(134)	(143)	
無形固定資産の減損	(6)	(7)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(2)	(8)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	-	
事業再編費用および類似項目	(90)	(24)	
その他の税効果	(49)	(16)	
その他の税目	-	-	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	(3)	(2)	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(2)	36	
動物用医薬品項目 ⁽³⁾	(63)	86	
その他のサノフィパスツール MSD 製品 ⁽⁴⁾	-	29	
事業純利益	2,141	2,300	(6.9%)
IFRS 1 株当たり利益⁽⁵⁾ (単位: ユーロ)	1.25	1.30	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2017 年度第 3 四半期は 4 億ユーロ、前年同期は 3 億 6,700 万ユーロとなった

(2) 2017 年度には、過去の売却に関連するベンダーの保証規定に応じた調整が含まれる

(3) 2016 年度: 取得原価と 2016 年 9 月 30 日現在の株価に基づく市場価格との差における Alnylam 社への投資の減損損失。2016 年 10 月 5 日、Alnylam 社は、Revusiran の開発プログラムを終了する決定を発表した。その結果、2016 年 10 月 6 日に株価は 48% 下落した

(4) 2017 年度に主に動物用医薬品の売却に関連して生じる価格調整

(5) 2016 年度には、以下の項目が含まれる: IFRS 第 5 号 (売却するために保留している固定資産および廃止事業) の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損の中止の影響、IFRS 第 5 号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として生じる費用、それらの項目の税効果

(6) 2016 年度には、以下の項目が含まれる: サノフィとメルク社が欧州での共同ワクチン事業を終了する意向を発表した後のサノフィパスツール MSD 事業純利益の持分会計の中止の影響

(7) 2017 年度第 3 四半期の 12 億 5,430 万株、前年同期の 12 億 8,850 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(単位:100 万ユーロ)	2017 年度 年初から 9 カ月間	2016 年度 年初から 9 カ月間	前年度比
当社株主に帰属する純利益	8,305	3,919	111.9%
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	1,424	1,280	
無形固定資産の減損	31	73	
偶発対価債務の公正価値での再評価	174	94	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	176	-	
事業再編費用および類似項目	613	690	
その他の損益および訴訟費用 ⁽²⁾	154	161	
上記項目の税効果:	(909)	(746)	
無形固定資産の償却	(467)	(450)	
無形固定資産の減損	(10)	(23)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(33)	(23)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	(56)	-	
事業再編費用および類似項目	(216)	(234)	
その他の税効果	(127)	(16)	
その他の税目	111	113	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	(4)	(11)	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	41	(18)	
動物用医薬品項目 ⁽³⁾	(4,484)	99	
その他のサノフィバスター MSD 製品 ⁽⁴⁾	-	48	
事業純利益	5,632	5,702	(1.2%)
IFRS 1 株当たり利益⁽⁵⁾(単位:ユーロ)	6.60	3.04	

- (1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2017 年度年初から 9 カ月間は 13 億 1,900 万ユーロ、前年同期は 11 億 7,600 万ユーロとなった
- (2) 2017 年度には、過去の売却に関連するベンダーの保証規定に応じた調整および EU のジェネリック医薬品事業の売却手続きに関連する分割コストが含まれる
- (3) 2016 年度:取得原価と 2016 年 9 月 30 日現在の株価に基づく市場価格との差における Alnylam 社への投資の減損損失。2016 年 10 月 5 日、Alnylam 社は、Revusiran の開発プログラムを終了する決定を発表した。その結果、2016 年 10 月 6 日に株価は 48%下落した
- (4) 2017 年度に動物用医薬品の売却に伴って生じる純利益(価格調整を含む)
- (5) 2016 年度には、以下の項目が含まれる:IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損の中止の影響、IFRS 第 5 号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として生じる費用、それらの項目の税効果
- (6) 2016 年度には、以下の項目が含まれる:サノフィとメルク社が欧州での共同ワクチン事業を終了する意向を発表した後のサノフィバスター MSD 事業純利益の持分会社の中止の影響
- (7) 2017 年度年初から 9 カ月間の 12 億 5,830 万株、前年同期の 12 億 8,790 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 5: 為替感度

2017 年の 1 株当たり事業純利益の為替感度

通貨	変動	1 株当たり事業純利益の 為替感度
米ドル	-0.05 ドル/ユーロ	+0.13 ユーロ
日本円	+5 円/ユーロ	-0.02 ユーロ
中国元	+0.2 元/ユーロ	-0.02 ユーロ
ブラジル・レアル	+0.4 レアル/ユーロ	-0.02 ユーロ
ロシア・ルーブル	+10 ルーブル/ユーロ	-0.03 ユーロ

2017 年度第 3 四半期売上高の通貨変動リスク

通貨	2017 年度 第 3 四半期
米ドル	38.9%
ユーロ	22.2%
中国元	6.4%
日本円	4.1%
ブラジル・レアル	2.9%
英ポンド	2.1%
ロシア・ルーブル	1.7%
メキシコ・ペソ	1.7%
オーストラリア・ドル	1.5%
カナダ・ドル	1.5%
その他	17.0%

平均為替レート

	2016 年度 第 3 四半期	2017 年度 第 3 四半期	前年度比
ユーロ/ドル	1.12	1.17	+5.2%
ユーロ/円	114.33	130.38	+14.0%
ユーロ/元	7.45	7.84	+5.2%
ユーロ/レアル	3.62	3.71	+2.5%
ユーロ/ルーブル	72.10	69.28	-3.9%

付録 6: 研究開発パイプライン

N: 新規分子化合物

R: 登録試験 (第 III 相以外)

- 免疫・炎症
- MS、神経、眼科
- オンコロジー
- 希少疾患
- 糖尿病領域
- 心血管領域、代謝
- 感染症
- ワクチン

申請中

<p>VaxiGrip® QIV IM 4 価不活化インフルエンザワクチン (6~35 カ月齢)</p>
<p>PR5i DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン、米国</p>

第 III 相

<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 喘息、鼻ポリープ</p>	<p>N</p> <p>sotagliflozin 経口 SGLT-1 および 2 阻害剤 1 型・2 型糖尿病</p>
<p>N</p> <p>isatuximab 非修飾型抗 CD38 モノクローナル抗体 再発性・難治性多発性骨髄腫</p>	<p>N</p> <p>SAR341402 即効型インスリン 1 型・2 型糖尿病</p>
<p>N</p> <p>cemiplimab⁽¹⁾ PD-1 阻害剤 一次治療 NSCLC、BCC、二次治療子宮頸がん</p>	<p>クロストリジウム・ディフィシル トキシノイドワクチン</p>
<p>N</p> <p>patisiran TTR 標的 RNA 干渉 遺伝性 ATTR アミロイドーシス</p>	<p>Fluzone® QIV HD 4 価不活化 インフルエンザワクチン—高用量</p>
<p>N</p> <p>GZ402666 neoGAA ポンペ病</p>	<p>小児用 5 種混合ワクチン ジフテリア・破傷風・百日咳、ポリオ、ヒブ 日本</p>
<p>N</p> <p>fitusiran⁽²⁾ アンチトロンビン標的 RNA 干渉 血友病</p>	<p>Men Quad TT 改良型髄膜炎菌 ACYW 結合型ワクチン</p>

第 II 相

<p style="text-align: center;">dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 好酸球形食道炎</p>	<p style="text-align: center;">N efpeglenatide 長時間作用型 GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病</p>	<p style="text-align: center;">狂犬病 VRVg 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン</p>
<p style="text-align: center;">N SAR156597 IL4/IL13 二重特異性モノクローナル抗体 全身性強皮症</p>	<p style="text-align: center;">N SAR425899 GLP-1R/GCGR デュアル作動薬 2 型糖尿病</p>	<p style="text-align: center;">結核 遺伝子組換えサブユニットワクチン</p>
<p style="text-align: center;">N GZ389988 TRKA 拮抗剤 変形性関節症</p>	<p style="text-align: center;">R cemiplimab⁽¹⁾ PD-1 阻害剤 進行性 CSCC (皮膚がん)</p>	<p style="text-align: center;">Adacel+ Tdap 追加接種ワクチン</p>
<p style="text-align: center;">N SAR100842 LPA1 受容体拮抗剤 全身性強皮症</p>	<p style="text-align: center;">cemiplimab⁽¹⁾ PD-1 阻害剤 進行性 BCC</p>	<p style="text-align: center;">Shan 6 DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン</p>
<p style="text-align: center;">N SAR422459 ABCA4 遺伝子療法 シユタルガルト病</p>	<p style="text-align: center;">isatuximab 非修飾型抗 CD38 モノクローナル抗体 急性リンパ性白血病</p>	<p style="text-align: center;">HIV ウイルスベクタープライムおよび rgp120 追加接種ワクチン</p>
<p style="text-align: center;">N - R olipudase alfa rhASM 酸性スフィンゴミエリナーゼ欠乏症⁽³⁾</p>	<p style="text-align: center;">N SAR566658 メイトンシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん</p>	<p style="text-align: center;">RSV モノクローナル抗体⁽⁵⁾ RS ウイルス モノクローナル抗体</p>
<p style="text-align: center;">N venlustat 経口グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ゴーシェ病関連のパーキンソン病、 ゴーシェ病 3 型、ファブリー病</p>	<p style="text-align: center;">N mevacamten⁽⁴⁾ ミオシン阻害剤 肥大性心筋症</p>	<p>(1) SAR439684 および REGN2810 と呼ばれる (2) 臨床試験差し止め (3) ニーマンピック病 B 型とも呼ばれる (4) SAR439152 および MYK461 と呼ばれる (5) SP0232 および MEDI8897 と呼ばれる (6) MYK491 と呼ばれる</p>
<p style="text-align: center;">N - R 併用療法 ferroquine / OZ439 抗マラリア薬</p>	<p style="text-align: center;">N SAR407899 rho キナーゼ 微小血管性狭心症</p>	

第 I 相

<p style="text-align: center;">N SAR440340 抗 IL33 モノクローナル抗体 喘息、慢性閉塞性肺疾患</p>	<p style="text-align: center;">N SAR408701 メイトンシン搭載抗 CEACAM5 モノクローナル抗体 固形がん</p>	<p style="text-align: center;">N SAR440181⁽⁶⁾ DCM1 ミオシン活性化 急性心不全後</p>
<p style="text-align: center;">N SAR439794 TLR4 作動薬 ピーナッツアレルギー</p>	<p style="text-align: center;">N SAR428926 メイトンシン搭載抗 Lamp1 モノクローナル抗体 がん</p>	<p style="text-align: center;">N SAR247799 S1P1 作動薬 循環器適応</p>
<p style="text-align: center;">N GZ402668 GLD52 (抗 CD52 モノクローナル抗体) 再発性多発性硬化症</p>	<p style="text-align: center;">N SAR439459 TGF β 阻害モノクローナル抗体 転移性黒色腫</p>	<p style="text-align: center;">単純ヘルペスウイルス 2 型 HSV-2 ワクチン</p>
<p style="text-align: center;">N UshStat[®] ミオシン 7A 遺伝子療法 アッシュヤー症候群 1B</p>	<p style="text-align: center;">cemiplimab⁽¹⁾ PD-1 阻害剤 頭頸部がん</p>	<p style="text-align: center;">RS ウイルス 乳幼児</p>
<p style="text-align: center;">N SAR228810 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病</p>	<p style="text-align: center;">N SAR438335 GLP-1R/GIPR デュアル作動薬 2 型糖尿病</p>	

付録 7: 見込まれる研究開発マイルストーン

製品	見込まれるマイルストーン	時期
dupilumab	喘息(成人/青年期患者)に関する米国での薬事承認申請	2017年度 第4四半期
Dupixent [®]	アトピー性皮膚炎(6~11歳)における第III相試験の開始	2017年度 第4四半期
Dupixent [®]	アトピー性皮膚炎(6カ月齢~5歳)における第III相試験の開始	2017年度 第4四半期
efpeglenatide	2型糖尿病における第III相試験の開始	2017年度 第4四半期
sotagliflozin	2型糖尿病の併用療法における第III相試験の開始	2017年度 第4四半期
isatuximab	多発性骨髄腫における追加第III相試験の開始および多発性骨髄腫以外の適応に関する試験の開始	2017年度 第4四半期
Praluent [®]	ODYSSEY OUTCOMES 試験の重要結果	2018年度 第1四半期
cemiplimab (PD-1)	皮膚扁平上皮がんにおける第II相試験(登録)の結果	2018年度 第1四半期
cemiplimab (PD-1)	皮膚扁平上皮がんに関する米国での薬事承認申請	2018年度 第1四半期
dupilumab	喘息(成人/青年期患者)に関するEUでの薬事承認申請	2018年度 第1四半期
GZ402668 (抗CD52モノクローナル抗体)	多発性硬化症における第III相試験の開始	2018年度 第2四半期
dupilumab	好酸球性食道炎における第III相試験の開始	2018年度 第3四半期
Dengvaxia [®]	欧州での承認	2018年度 第3四半期
isatuximab	多発性骨髄腫におけるPomDexとの併用療法に関する第III相試験の結果	2018年度 第4四半期

付録 8: GAAP (一般会計原則) と異なる財務指標の定義

カンパニー

「カンパニー」は、サノフィとその子会社に相当します。

カンパニー売上高(為替レート変動の影響を除く)

「純売上高(為替レート変動の影響を除く)」での変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、前期に使用された為替レートで当期の売上高を再計算することによって、排除されます。

2017 年度第 3 四半期および 2017 年度年初から 9 カ月の純売上高からカンパニー売上高総計(為替レート変動の影響を除く)への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2017 年度 第 3 四半期	2017 年度 年初から 9 カ月間
純売上高	9,053	26,364
為替レートの影響	(403)	(133)
カンパニー売上高(為替レート変動の影響を除く)	9,456	26,497

事業純利益

サノフィは、GAAP (一般会計原則) と異なる主要指標を発表します。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併または売却に関連する偶発対価の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響(関連会社および合弁会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用および類似項目⁽¹⁾
- その他の損益(非流動資産の売却損益⁽¹⁾を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金⁽¹⁾
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税(3%)
- 事業純利益のうちの動物用医薬品項目⁽²⁾
- 上記項目に関連する非支配株主に帰属する純利益

(1) 連結損益計算書の Note B.20. で定義されているとおり、**再編費用および類似項目**と**売却・訴訟に関わる損益**の勘定科目で報告されます。

(2) 2016 年度における IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損中止の影響、IFRS 第 5 号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として増加する費用、これらの項目の税効果、ならびに、2017 年度における動物用医薬品事業の売却益(税控除後)